

19 外郭団体

1 概要（令和5年7月1日現在）

(1) 市から基本財産又は資本金相当額の25%以上を出資している法人（市が設立した地方独立行政法人を除く）

団体名	代表者名	基本財産 ・出資合計 金額(千円)	市の出資 ・出捐		市からの 財政支出		主 な 事 業
			上段:金額(千円)		上段:金額(千円)		
			下段:割合		下段:割合		
(一財) 岡山市勤労者サ ポートプラザ	理事長	100,000	100,000	5,000	100.0%	4.1%	中小企業勤労者のための福利厚生事業
	林 恭生						
(公財) 岡山市公園協会	理事長	114,000	57,000	506,482	50.0%	79.3%	緑化普及促進事業, 緑化基金管理, 都市 公園指定管理業務等
	林 恭生						
(公財) 岡山市シルバー 人材センター	理事長	51,000	50,000	276,020	98.0%	35.4%	シルバー事業, 会員への各種研修・就業相 談
	信木 修						
(公財) 岡山文化芸術創 造	理事長	526,400	454,459	572,715	86.3%	82.5%	岡山シンフォニーホール・岡山芸術創造劇 場の管理運営, プロオーケストラ, ジュニア オーケストラ, アーツフェスティバル運営等
	越宗 孝昌						
(一財) 岡山市水産協会	代表理事	250,000	230,000	0	92.0%	0%	栽培漁業の推進, 漁場の環境保全, 地場 産水産物の普及啓発活動
	豊田 安彦						
(公財) 岡山市ふれあい 公社	理事長	100,000	100,000	4,132,087	100.0%	77.4%	福祉・健康・生涯学習に関する事業, ふれ あいセンター・ウェルポートなださきの管理 運営
	那須 正己						
(公財) 岡山県下水道公 社	理事長	30,000	9,853	0	32.8%	0%	児島湖流域下水道の維持管理業務の受託 に関すること
	西澤 洋行						
(一財) 吉井川水源地域 対策基金	理事長	105,673	34,695	3,995	32.8%	13.0%	苦田ダム建設により水没する地域の振興事 業
	川上 次郎						
(株) 岡山コンベンショ ンセンター	代表取締役社長	99,000	50,000	2,710	50.5%	0.5%	岡山コンベンションセンター, ママカリパー キングの運営管理
	山本 修司						
岡山市市場冷蔵(株)	代表取締役社長	15,000	5,000	0	33.3%	0%	岡山市中央卸売市場における冷蔵倉庫業
	内山 三郎						
岡山港埠頭開発(株)	代表取締役	22,000	7,000	0	31.8%	0%	岡山港の港湾施設の指定管理(上屋施設 の管理・港湾施設の使用許可)等
	太田 幸人						
岡山市土地開発公社	理事長	20,000	20,000	0	100.0%	0.0%	公共用地・公用地の先行取得, 管理, 処分
	竹中 正博						
岡山都市開発(株)	代表取締役	2,950,000	1,540,000	0	52.2%	0%	リットンティビル駐車場等の管理及び運営
	林 恭生						
(一財) 岡山市スポーツ 協会	会長	62,244	30,000	45,525	48.2%	85.5%	生涯スポーツの普及振興及び市民の健康・ 体力づくりの推進等
	原 憲一						

(2) 市から継続的に人的又は財政的な関与を受け、かつ、市の政策・施策の遂行と密接な関係を有する法人

(公社) おかやま観光コ ンベンション協会	会長	0	0	410,394	0.0%	66.1%	コンベンション・観光客の誘致活動, 岡山 城・足守プラザ等の管理運営
	石井 清裕						
(社福) 岡山市社会福祉 協議会	会長	46,080	0	584,516	0.0%	66.7%	社会福祉関連事業の推進, 社会福祉関連 施設の管理運営
	内田 通子						

(注1) 「基本財産・出資合計」, 「市の出資・出捐」, 「市からの財政支出」は令和4年度決算ベースの金額

(注2) 「市からの財政支出」は出資金及び出捐金を除く, 委託料, 指定管理料, 補助金, 負担金, 交付金などの市の支出金

(注3) 「市からの財政支出」の割合は, 経常収益の合計における財政支出額の割合

2 経営状況

団体名	指標	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		決算(千円)	決算(千円)	決算(千円)	概況
(一財)岡山市勤労者サポートプラザ	当期収支	10,042	▲ 1,241	▲ 3,260	退職給付引当金を一括計上したため、当期収支は赤字となったが、単年度の事業活動収支は黒字である。また、会員数増加により会費収入は増えており、経営的には安定している。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	94.31%	95.98%	92.13%	
(公財)岡山市公園協会	当期収支	2,522	2,559	2,379	新型コロナウイルス感染症の影響による利用料金の若干の減収に加え、電気・ガス料金等の高騰による光熱水費の大幅増があったものの、委託費等の減少、効率的な経費支出に努めたことにより、令和3年度と同様黒字を確保。今後も引き続き効率的な運営に努めていく。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	68.32%	74.77%	69.74%	
(公財)岡山市シルバー人材センター	当期収支	64,463	58,143	53,626	売り上げについては、公共部門は前年売り上げを上回ったが、民間部門が前年売り上げを下回ったことから、全体として前年売上げを下回った。ただし、草刈り・剪定部門の売上げの安定や派遣事業の利益の確保と経費削減による固定費抑制により、引き続き黒字を確保し、経営は安定している。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	66.76%	73.67%	77.82%	
(公財)岡山文化芸術創造	当期収支	▲ 35,482	3,354	▲ 9,058	令和5年9月の岡山芸術創造劇場開館に向けて職員数を増やし(R3年度末50名→R4年度末66名)、運営している。事業拡大を支える法人運営事業での財源不足が財団の収支状況に影響しているが、R5年度においては赤字解消する見込みであり、引き続き組織・事業体制を整えながら効率的な運営に努めたい。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	77.94%	73.48%	78.71%	
(一財)岡山市水産協会	当期収支	173	▲ 833	▲ 55	国債の減価償却等により基本財産は減少しているが経営は安定している。今後も効率的な運営に努めて行く。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	99.92%	99.95%	99.95%	
(公財)岡山市ふれあい公社	当期収支	27,435	▲ 18,525	4,414	前年までは制限されることが多かった事業活動がコロナ以前に戻りつつある一方、未だ介護報酬収益など減収が見られたが、費用抑制の取り組みや、主に介護保険事業での人材不足に起因する人件費の縮小などにより、事業全体で収支均衡となった。引き続き事業運営の見直しや事務作業の効率化等により、経営状況の安定化に努めていく。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	44.76%	41.06%	41.21%	
(公財)岡山県下水道公社	当期収支	195	195	80	県から事業委託を受け安定した経営が行われており、今後も効率的な施設管理や団体運営が求められる。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	57.38%	60.03%	51.41%	
(一財)吉井川水源地域対策基金	当期収支	▲ 3,868	▲ 3,056	▲ 5,151	当期収支がマイナスとなっているが、公益目的支出計画に従い、鏡野町へ交付する水源地域振興事業補助金へ充当するため計画的に基金を取り崩していることが要因であり、経営状況は安定している。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	100.00%	100.00%	100.00%	
(株)岡山コンベンションセンター	当期収支	▲ 42,657	▲ 46,764	▲ 2,719	新型コロナウイルス感染症の影響により、当期決算は赤字となったものの、売上に回復傾向が見られる。今後の感染状況にも注意を払いながら、営業活動の強化や新たなMICE市場の開拓など、持続可能な経営に取り組んでいく。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	92.15%	89.54%	90.65%	
岡山市場冷蔵(株)	当期収支	8,174	1,323	▲ 2,956	電力価格の高騰による動力費の増加が大きく影響し、人員削減・外注費削減や収入料金の値上げを行ったものの、当期収支がマイナスとなった。寄託物の在庫量の増加を図り、効率的な運営に努めていく。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	81.04%	88.68%	69.78%	

団体名	指標	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		決算(千円)	決算(千円)	決算(千円)	概況
岡山都市整備(株) ※注2	当期収支	▲5,760	▲5,570	▲68,453	令和4年度は清算に係る事務を行い、令和5年3月24日に清算が終了した。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	95.02%	94.48%	98.93%	
岡山港埠頭開発(株)	当期収支	15,168	15,173	15,673	効率的な施設管理ができており、経営状況は安定しているが、今後も引き続き、効率的な経営が求められる。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	74.33%	73.88%	75.29%	
岡山市土地開発公社	当期収支	▲3,423	▲1,138	▲779	平成18年度から平成22年度まで実施した「岡山市土地開発公社の経営の健全化に関する計画」における目標は、平成21年度に達成し、その後も総務省が定める「簿価総額を、設立・出資団体の標準財政規模で除して得た数値」の基準を満たしており、経営の健全化を図っている。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	19.15%	19.27%	19.25%	
岡山都市開発(株)	当期収支	▲22,400	▲9,570	4,721	駐車場の運営は一般駐車の利用台数が大きく増加し、収支は2019年度以来のプラスに転じた。今後は施設の計画的な修繕が必要となるため、引き続き立地の優位性を活かして駐車場利用者の確保に努めていく。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	99.32%	99.28%	99.18%	
(一財)岡山市スポーツ協会	当期収支	982	1,168	952	令和元年度までは、予定された事業は概ね実施されたが、令和2年度以降、新型コロナウイルスの影響により多数の事業が中止になった。収入についても、新型コロナウイルスの影響を受けたが、引き続き民間助成金等の活用を積極的に行った。令和5年度以降もより効率的な団体運営を行い、岡山市におけるスポーツの普及振興に努めていく。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	84.46%	82.59%	87.51%	
(公社)おかやま観光コンベンション協会	当期収支	60,156	▲8,685	▲570	新型コロナウイルスの影響を受け、当期決算は赤字となった。引き続き、自主事業の効率化などにより経営の安定化を図るとともにコンベンション誘致の強化、他団体との連携等を進め、より効果的な公益目的事業に取り組む。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	58.62%	51.10%	46.10%	
(一財)岡山市建部町観光公社 ※注3	当期収支	▲170			
	累積欠損金額	0			
	自己資本比率	95.23%			
(社福)岡山市社会福祉協議会	当期収支	10,167	1,904	▲7,532	令和4年度は創立100周年を迎え、記念事業等を行った。それに伴う支出が当期収支に影響を及ぼしたが、今後も安定した経営に努めるため平成31年2月に策定した「岡山市社会福祉協議会改革方針」に沿って、一層の支出削減や効率化を図る必要がある。
	累積欠損金額	0	0	0	
	自己資本比率	68.42%	73.11%	68.72%	

(注1) 財団・社団法人の当期収支については、正味財産増減計算書の当期一般正味財産増減額の数値

(注2) 岡山都市整備(株)は、令和4年3月28日に解散し、令和5年3月24日に清算終了

(注3) (一財)岡山市建部町観光公社は、(公社)おかやま観光コンベンション協会と令和2年5月1日に合併